

国語科主任 先生
国語科ご担当 先生

平成 26 年 10 月 吉日

株式会社 水王舎
東京都新宿区西新宿 6-15-1
ラ・トゥール新宿 511
電話 03-5909-8920
FAX 03-5909-8921

出口汪講演会 & 論理エンジン実践報告会のご案内

謹啓

仲秋の候、貴校いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、学校・塾の先生方を対象に、「出口汪講演会 & 論理エンジン実践報告会」を開催させていただき運びとなりました。

第一部は、論理エンジン開発者で教育プロデューサー、出口汪による講演です。

近年、国の教育方針が大きな転換点を迎えています。政府の教育再生実行会議による大学入試改革に関する提言や、20世紀型学力から【21世紀型学力】への転換についての提言、文部科学省から出された2018(平成30)年までに国際バカロレア(IB)認定校を200校まで増やすという方針など、教育現場の先生方にとって非常に重要な変革が打ち出されています。これらは、文部科学省による『スーパー・グローバル・ハイスクール』事業にも大きく関わってまいります。

これらの、国が掲げる方針と【論理力】との関係性について、論理力の育成を一貫して唱え実行してきた出口の講演から、ぜひ、より深く知っていただければ幸いです。

第二部は、「論理エンジン実践報告会」です。生徒育成に大きな力を発揮する『論理エンジン』を使って、実際の現場でどのようにご指導されているか、そのお取り組みのご報告です。今回は、『スーパー・グローバル・ハイスクール』指定校であり『論理エンジン』採用校でもある、広島女学院中学・高等学校の那須泰先生によるご報告です。『論理エンジン』をベースとした現代文指導における、生徒への徹底的な『意識づけ』とその効果についてじっくりとご紹介いただきます。

さらに第三部では、出口の講義映像を見ながら『論理エンジン』を学習できるインターネット映像講義『論理net』について、内容と導入事例をご紹介します。

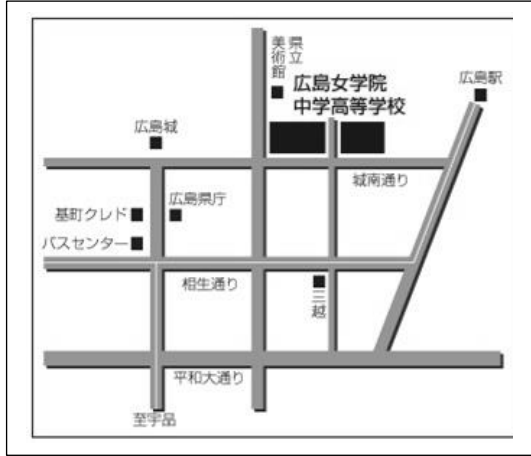
なお、広島女学院中学・高等学校様のご厚意により、校内施設を会場としてご提供いただくこととなりました。心より御礼申し上げます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

出口汪講演会 & 「論理エンジン」実践報告会

日時	2014年12月7日(日)13:00～17:00 (受付開始 12:30) 参加費:無料 対象:学校・塾の先生方		
会場	広島女学院中学高等学校 高校校舎 4F 大講義室2 所在地:広島市中区上幟町 11-32 交通:広島駅から徒歩 12分 広島バスセンターから徒歩 16分 ※恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。 なお、交通費はご負担ください。 ※定員になり次第締切りとなりますので、 お早めにお申込みください。 会場 URL: http://www.hjs.ed.jp/gaiyo/map.html		
内容	第一部	・講演「教育再生実行会議の提言について」/21世紀型学力とは/論理力について /『論理エンジン』とは/質疑応答 13:00～14:30 講師:出口 汪(教育プロデューサー・論理エンジン開発者)	
	休憩 14:30～14:40(10分)		
	第二部	・実践報告「論理エンジン導入事例」 『論理エンジン』をベースとした現代文指導法/『論理エンジン』の意識づけ 14:40～16:10 講師:那須泰 先生(広島女学院中学校・高等学校 教諭)	
	第三部	論理エンジンインターネット映像講座『論理 net』について 16:30～17:00 『論理 net』の内容と導入事例のご紹介	



第一部講演者: 出口汪

広島女学院大学客員教授/教育プロデューサー

『論理エンジン』開発者
 授業、通信講座、書籍で
 700万人以上に「論理」を
 教えた、「現代文のカリスマ」。
 小学館 edu の連載等
 メディア掲載実績多数。
 近年は講演活動や執筆物を通
 じて、幅広く「論理」の
 普及に務めている。



第二部講演者: 那須泰 先生

広島女学院中学・高等学校 教諭

「論理的言語力が生徒の人生
 を変える」という信念のもと、
 「情熱」をもって教壇に立つ
 論理のグレートティーチャー。

論理エンジン講演会等での
 講師経験も多数。



～ご参加希望の方は FAX かメールにてお申込ください。【FAX: 03-5909-8921】～

貴校名			
お名前		ご役職/ご担当	
お電話		F A X	
メールアドレス			
ご同行者名		合計人数	名

主催: 株式会社水王舎 TEL: 03-5909-8922 MAIL info@ronri.jp URL <http://www.ronri.jp>